小山中央写真ニュース　　1536 号　2025 年 7 月

「茶道体験」

～６年生　総合的な学習の時間「自国を見つめて」

６月３０日（月）に町田茶道会の先生方を招いて茶道体験を行いました。６年生は、総合的な学習の時間「自国を見つめて」という単元で日本の文化のよさについて学習をしています。その一環で、日本の伝統である茶道の体験をさせていただきました。

まず初めに、茶道の心や茶室についてお話をいただきました。その中で茶道の心である「和敬清寂」がもつ意味を説明していただきました。次に「真・行・草」という３種類のお辞儀の仕方を学びました。お辞儀の深さに違いがありますが、どのお辞儀も「相手を思うことを大切に」という気持ちは変わらないことを教えていただきました。おじぎの練習をした後は、みんなの背筋がいつもより伸びていて、すてきでした。また、先生方の茶道のデモンストレーションでは、一つ一つの作法の意味や、使われている道具、植物など様々なところに茶道の心があることを教えていただきました。茶道はただお茶をいただくだけでなく、五感を研ぎ澄まして季節を感じたり、相手のおもてなしを感じたりして、そこの空間全てを楽しむものだと感じました。

その後、実際に自分たちでお茶を点てる体験と先生方が点ててくださったお茶をいただく体験を行いました。

児童からは、

「実際に点てていただいたお茶と、自分で点てたお茶では、苦さや泡立ち方が違い、びっくりしました。この体験を通して、日本の文化を大切にしていきたいと思います。」

「座礼の仕方は、難しかったけれど、日本らしさを感じるために丁寧にやることができました。また、立礼は、これからもしっかり続けていきたいと思いました。」

などの感想が聞かれました。

本日、茶道体験をする児童の様子を見ていて、茶道の心は日本人として忘れたくないものだなと感じ、これからの未来へと継承し大切にしていきたいものだと思いました。お越しいただいた町田茶道会の先生方、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。